

●平成22年度学部卒業者の就職・進路状況内訳(学科・課程・性別)(平成23年5月1日現在)

学部	学科・課程	性別	卒業者数	就職希望者数	就職者数	就職率(%)	進学者数	その他
法文学部	法政策学科	男女	56	38	37	97.4	6	12
		男女	48	36	34	94.4	4	8
	経済情報学科	男女	73	63	53	84.1	4	6
		男女	74	66	57	86.4	3	5
	人文学科	男女	37	25	21	84.0	5	7
		男女	123	90	75	83.3	11	22
	小計	男女	166	126	111	88.1	15	25
		男女	245	192	166	86.5	18	35
教育学部	学校教育教員養成課程	男女	107	75	71	94.7	14	18
		男女	114	91	83	91.2	7	16
	特別支援教育教員養成課程	男女	4	3	3	100.0	—	1
		男女	10	9	8	88.9	1	—
	養護学校教員養成課程	男女	1	1	1	100.0	—	—
		男女	—	—	—	—	—	—
	生涯教育総合課程	男女	10	8	8	100.0	—	2
		男女	27	20	19	95.0	4	3
	小計	男女	122	87	83	95.4	14	21
		男女	151	120	110	91.7	12	19
理学部	数理情報科学科	男女	32	18	16	88.9	8	6
		男女	5	5	5	100.0	—	—
	物理科学科	男女	31	13	12	92.3	13	5
		男女	6	3	2	66.7	3	—
	生命化学科	男女	30	11	11	100.0	16	3
		男女	21	12	12	100.0	5	4
	地球環境科学科	男女	28	11	10	90.9	14	3
		男女	18	14	14	100.0	4	—
	小計	男女	121	53	49	92.5	51	17
		男女	50	34	33	97.1	12	4
医学部	保健学科	男女	31	30	27	90.0	1	—
		男女	99	96	95	99.0	2	1
	機械工学科	男女	106	39	39	100.0	61	6
		男女	3	1	1	100.0	2	—
	電気電子工学科	男女	81	25	23	92.0	54	2
		男女	1	1	1	100.0	—	—
	建築学科	男女	35	13	13	100.0	20	2
		男女	14	7	7	100.0	6	1
工学部	応用化学工学科	男女	46	17	16	94.1	27	2
		男女	16	11	11	100.0	5	—
	海洋土木工学科	男女	37	19	19	100.0	13	5
		男女	3	1	1	100.0	2	—
	情報工学科	男女	45	18	18	100.0	26	1
		男女	8	4	4	100.0	4	—
	生体工学科	男女	46	18	18	100.0	25	3
		男女	19	11	11	100.0	8	—
	小計	男女	396	149	146	98.0	226	21
		男女	64	36	36	100.0	27	1
農学部	生物生産学科	男女	36	22	22	100.0	9	5
		男女	38	29	27	93.1	7	2
	生物資源化学科	男女	30	15	15	100.0	13	2
		男女	30	25	23	92.0	3	2
	生物環境学科	男女	49	30	28	93.3	16	3
		男女	15	8	8	100.0	5	2
	獣医学科	男女	20	18	17	94.4	1	1
		男女	14	11	11	100.0	—	3
	小計	男女	135	85	82	96.5	39	11
		男女	97	73	69	94.5	15	9
水産学部	水産学科	男女	100	60	57	95.0	33	7
		男女	28	19	17	89.5	7	2
	水産教員養成課程	男女	4	3	3	100.0	1	—
		男女	3	2	1	50.0	1	—
	小計	男女	104	63	60	95.2	34	7
		男女	31	21	18	85.7	8	2
	合計	男女	1075	593	558	94.1	380	102
		男女	737	572	527	92.1	94	71
	計		1812	1165	1085	93.1	474	173

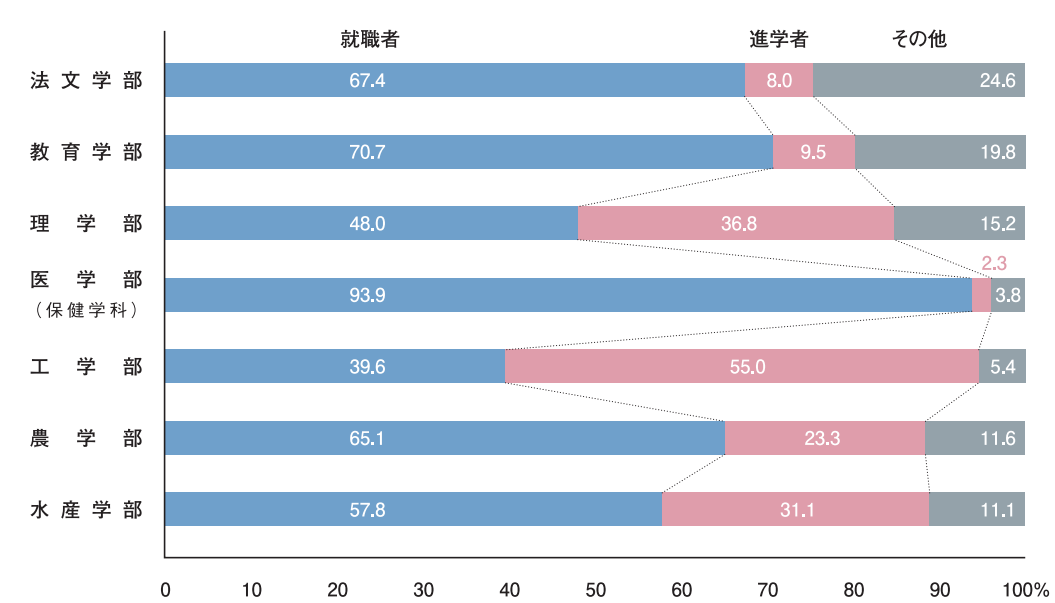
(注)①医(医学科)・歯(歯学部)を除く。②9月卒業生を含む。③「その他」は、外国への留学生、専門学校への入学者、研究生・科目等履修生、公務員・教員採用試験受験希望者、進路不明者等。

●平成22年度学部卒業者の就職・進路状況 (平成23年5月1日現在)

学部	法学部	教育学部	理学部	医学部(保健学科)	工学部	農学部	水産学部	合計
平成22年度卒業者数(人)	411	273	171	130	460	232	135	1812
就職希望者数(人)	318	207	87	126	185	158	84	1165
就職者数(人)	277	193	82	122	182	151	78	1085
業種別就職者数(人)	農林業・漁業	1	—	—	—	11	1	13
	建設・製造	22	3	9	—	83	29	158
	情報通信	18	5	16	—	27	3	70
	卸売・小売	38	11	7	—	10	17	105
	金融・保険	54	3	6	—	6	9	82
	医療・福祉	16	6	1	112	2	3	141
	教育・学習	13	20	5	—	1	4	45
	サービス	20	6	8	—	22	25	86
	公務員	54	19	10	9	19	34	160
	教員	9	113	13	1	1	2	140
	上記以外の業種	32	7	7	—	11	15	85
就職率(%)	87.1	93.2	94.3	96.8	98.4	95.6	92.9	93.1
進学者数(人)	33	26	63	3	253	54	42	474
その他(人)	60	40	21	1	22	20	9	173

(注)①医(医学科)・歯(歯学部)を除く。②9月卒業生を含む。③「その他」は、外国への留学生、専門学校への入学者、研究生・科目等履修生、公務員・教員採用試験受験希望者、進路不明者等。

●平成22年度学部卒業者の就職・進路状況(グラフ) (平成23年5月1日現在)



学部卒業者の就職・進路状況の主なデータをご紹介します。最終的な就職先は毎年5月1日現在でデータを集めております。就職支援センターのホームページ(<http://shushoku.kuas.kagoshima-u.ac.jp/>)には「学部別就職先」など、より詳しい情報も掲載しておりますので合わせてご覧くださる。

平成22年度 学部卒業者の就職・進路状況

鹿大の主な出来事

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

平成23年
4月～9月

- 農学部附属焼酎・発酵学教育研究センター看板除幕式を開催
4月1日、農学部において附属焼酎・発酵学教育研究センター看板除幕式が行われました。同センターは平成18年から5年間にわたって活動してきた農学部焼酎学講座(寄附講座)を母体として新たに設置されたもので、これまでの焼酎製造学・醸造微生物学に加えて発酵基礎科学と発酵文化学を加えた4部門で構成され、発酵学の教育研究拠点として地域の産業の貢献、人材育成、情報発信を行っていきます。
- 北米教育研究センター
米国における法人登記を完了
米国カリフォルニア州シリコンバレー地区にある鹿児島大学の海外拠点である北米教育研究センターが、本年4月1日付でカリフォルニア州における法人登記を完了しました。同センターでは、これを機に、今後の更なる事業の推進・発展促進を図ります。
- 共同獣医学部協定締結式を開催
4月22日、鹿児島大学と山口大学は、共同教育課程実施制度の手続きに基づき、共同獣医学部協定締結式を行いました。同月28日に設置計画の概要を文部科学省へ提出し、6月15日に学部設置が認められました。平成24年4月より、鹿児島大学と山口大学がそれぞれ共同獣医学部を設置し、両大学による共同教育課程が始まります。
- 中高生向けに出前授業で、キャリアプランニング支援講座
5月14日、鹿児島市立玉龍中高一貫教育校において、男女共同参画に関する出前授業を実施しました。第1回目となる今回は、田島真理子学長補佐、男女共同参画担当がライフプランニングについて中学生、高校生向けにそれぞれ授業を行いました。
- 自転車防犯診断に学生ボランティアが参加
5月19日、鹿児島大学構内で行われた平成23年春の地域安全活動に伴うボランティア活動に、本学の学生や地域安全ボランティア40名が参加し、自転車の防犯診断を行いました。学生たちは、自転車に二重鍵錠を呼び掛けるカードをくくりつけたり、防犯登録を勧めるチラシを配るなどして、防犯活動を行いました。



中学生への授業の様子

- 「かこしま丸」出航式を開催
8月11日、水産学部附属練習船「かこしま丸」が、水産学部3・4年生26名を乗せて谷山港を出航しました。漁業実習のため東インド洋方面に航海し、海洋調査実習、外国帰港航海運用学実習等を行います。来年3月には新しい船が竣工するため、これが現かこしま丸の鹿児島大学での最後の長期遠洋航海となる予定です。
- 第1回地域連携活動「もつくり、科学実験」を開催
8月22日、理工学研究科技術部は鹿児島市立南方小学校において、4年生から6年生の児童25名とその保護者らを対象に、出前授業「もつくり、科学実験」を開催しました。液体窒素を用いた実験や、人工くわんや万華鏡の作成など様々なコースを用意しており、子どもたちは技術職員の説明を聞いたり、手伝ってもらいながら実験や工作を楽しみました。
- 「かこしま丸」出航式を開催
8月11日、水産学部附属練習船「かこしま丸」が、水産学部3・4年生26名を乗せて谷山港を出航しました。漁業実習のため東インド洋方面に航海し、海洋調査実習、外国帰港航海運用学実習等を行います。来年3月には新しい船が竣工するため、これが現かこしま丸の鹿児島大学での最後の長期遠洋航海となる予定です。
- 宇宙焼酎の官能試験(利き酒)を実施
スベスベ・トルエン・パイに搭載された14日間の宇宙飛行を行った酵母と麹を使った試作焼酎の官能試験(利き酒)が8月25日、農学部附属焼酎・発酵学教育研究センターで行われました。白麹と3種類の酵母(姫姫、H5、K2)で、宇宙飛行をしたものと通常作り地上で作ったものをそれぞれ組み合わせた12種類の焼酎が用意され、参加者は香、味を3段階で評価しました。



ワークショップの様子



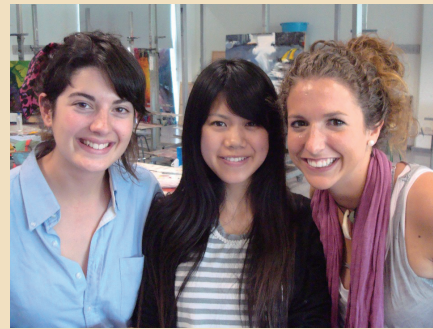
人エイクラを作ろう

◎留学だより

教育学部学校教育教員養成課程 美術専修4年生
二宮 尚美さん
スペイン バレンシア工芸大学留学(平成21年9月～22年7月)



小さい頃から海外に関心があり、中高生の時にホームステイや海外旅行をしていた経験から、大学でも留学したいと思っていました。鹿大に入学し、写真絵画の長い歴史を持つヨーロッパの大学への留学を考えていたところ、スペインのバレンシア工芸大学が鹿大の学術交流協定校であると知り、また、同大学へ留学経験のある先輩からも充実した授業が受けられるとの助言をいただいたので留学を決めました。バレンシア工芸大学は、17学部からなり約3万3千人の学部学生と大学院生が在籍する歴史ある総合大学です。私は美術学部在籍し、絵画の基礎から発展的な表現方法まで幅広く学びました。蠟画や卵黄テンペラなど日本では経験したことのない画材を使ったり、筆を使わずに手で大胆に色を塗ったりと、初めての描画方法に刺激を受けました。また、アカデミックな写真絵画だけでなく、ストリートアートや現代アートなどを目にする機会も多く、固定観念にとらわれずに自分の表現方法を模索するクラスメイトたちの姿勢から学ぶことも多くあり、制作に対する考え方が広がりました。



バレンシア工芸大学の美術室で友人と(中央が二宮さん)

言語や文化の違いなどで最初はとまどうこともありましたが、いろんな国の友達ができ、ルームメイトたちとスペイン料理を作ったり、休暇中はヨーロッパ各国の美術館巡りをしたり、とても充実した留学生活を送ることができました。現在は、小学校教諭を目指して勉強中です。今後は留学経験をいかして、積極的に人との交流をと思っています。留学したいと思ったら、まず留学先でしたいことを決めること。留学前に準備しただけ、留学先での学びが大きくなると思います。



●鹿児島大学ブランド商品
鹿大ブランド焼酎は農学部附属演習林の沸き水を使った「きばいんせ」春秋謡歌・焼酎講座開発の酵母による「天狗」の3種類。十津川農場のねじめわ菜とびわ丸120は農学部との共同研究製品です。県内各所で販売中。本学インフォメーションセンターでもお求めになれます。



鹿児島大学広報誌「鹿大ジャーナル」



鹿児島大学のホームページ
<http://www.kagoshima-u.ac.jp>

MORE INFORMATION

●平成22年度学部卒業者の主な就職先

◎法文学部

・セキスイハイム九州
・再春館製薬所
・九州電力
・南日本新聞社
・ユニクロ
・健康家族
・鹿児島銀行
・野村證券

・東京海上日動火災
・保険
・昂
・鹿児島医療生活協同
・組合
・JA鹿児島県連
・郵便局
・西日本高速道路

・経済産業省
・宮崎県
・鹿児島県
・鹿児島県警察
・鹿児島県立
・中学・高校(教員)

◎教育学部

・鹿児島県公立学校
・鹿児島県警察
・鹿児島県立幼稚園
・熊本市立学校
・宮崎県公立学校
・関東地区公立学校
・鹿児島県

・鹿児島県警察
・鹿児島市消防局
・自衛隊
・新生社印刷
・NHK宮崎放送局
・三菱UFJインフォメーションテクノロジー
・南国産産

・鹿児島銀行
・トヨタ車体研究所
・ヤマハ音楽振興会

◎理学部

・長崎県立島原高校(教員)
・宮崎市立生目南中学校(教員)
・京セラコミュニケーションシステム
・リコーITソリューションズ
・鹿児島銀行
・シーメンス・ジャパン

・ホンダ四輪販売南九州
・日立システム九州
・長菱エンジニアリング
・NTTデータカスタマーサービス
・化学及血清療法研究所
・イケアパナ
・協和発酵バイオ

・日本郵政
・積水ハウス
・広島銀行
・九電工
・日向日市
・九州労働金庫

保護者の皆様へ

COLUMN

新聞、テレビ等で大学生の就職環境の厳しさが繰り返し取り上げられる中、不安を抱く保護者の方も多いのではないのでしょうか。就職支援センターでも、保護者の方からの相談が増えています。

最低でも数ヶ月に及ぶ就職活動では、説明会への申込みや応募書類の準備、書類選考、筆記試験、面接など数多くのハードルがあります。ほとんどの学生にとっては初めて遭遇する出来事ばかりで、当然悩んだり落ち込んでしまし、精神的に不安定になりがちです。就職活動の進捗状況に個人差が出る時期には、親しい友人にささ就職の話はしばらく休むといえます。そんなときこそ、ご家族の精神的な支えは大きいもの。過度の干渉やプレッシャーを与えるような言動は控え、また一緒に落ち込んでいせず、明るく大らかな態度で接するようにしてください。アドバイスをする際には、本人の良い点をフィードバックし、前向きな気持ちを引き出していただければと思います。新聞や書籍、雑誌等から収集した情報を共有するのも良い方法でしょう。

学生にとって就職は大学入試とはまた異なる人生の関門であり、保護者の皆様にはぜひ温かく見守り、支えていただければと思います。また、就職や進路について悩みがある場合だけでなく、小さな相談事でも遠慮なく就職支援センターを利用することを勧めていただきますようお願い申し上げます。



医療支援派遣報告会の様子



ボランティア学生による作業

●東日本大震災被災地への医療支援派遣報告会を開催

鹿児島大学病院では、5月24日、被災地の医療支援派遣報告会を開催しました。大学病院では、医師、看護師、薬剤師及び事務職員からなる医療支援チームを計12回、延94名被災地へ派遣しています。報告会では、避難所における住民の診療、健康相談など現地での活動の他、今後の医療支援の在り方についての課題などが報告されました。



義援金(第一次)目録を贈呈



災害ボランティア報告会の様子

●東日本大震災被災地への医療支援派遣報告会を開催

鹿児島大学では、震災発生直後から被災された方々への支援として募金箱等を設置し、義援金を受け付けています。7月末までに、学生及び職員等から約1625万円の義援金(第13次)が集まり、日本赤十字社鹿児島県支部を通じて被災地へ届けられています。現在は、第4次8/8/12/22の義援金募集を行っており、今後も継続して義援金募集を行うとしております。

●災害・東日本大震災支援ボランティア活動報告会を開催

ボランティア支援センターでは、6月29日、災害支援ボランティア活動報告会を開催しました。実際に被災地でボランティア活動した学生たちや被災地復興支援のためのリユースPOボランティアに携わった学生からその活動内容やボランティアに参加する上での注意、今後の課題などについて報告がありました。

準硬式野球部

春季南九州大学準硬式野球大会で優勝!

準硬式野球部は、男子35名、女子6名の計41名で活動しています。週に4日、桜ヶ丘グラウンドで練習に励んでいます。活動内容は、他大学との定期戦や、新歓コンバ、OB戦、学祭、追いコンなどイベントも多いです。

今年3月には、熊本県で行われた春季南九州大学準硬式野球大会で優勝を果たし、全日本大学選抜準硬式野球大会に出場するという快挙を達成しました。

今後の目標は全日本大学選抜準硬式野球大会での全国制覇です。現在は、秋に開催される秋季南九州大学準硬式野球大会で優勝することを目標に練習に励んでいます。

準硬式野球部は、練習スケジュールはハードですが、充実した楽しい大学生活を過ごすこ



春季南九州大学準硬式野球大会で優勝

どのでできる部活です。入部するしないに関わらず、気軽に練習を見に来てください。マネージャーも募集中です。

これから全国制覇目指して頑張りますので、応援よろしくお願いします。

Clubs

サークル紹介

創立40周年!「同好会」から「部」に昇格

イデムチは、男子28名、女子39名の計67名で月・水・金の週3日活動しています。ギターとリコーダーとコントラバスの3種類の楽器で合奏します。楽曲はクラシック、ポピュラーなど様々です。創立40周年という節目の年に、同好会から部に昇格することができました。

恒例イベントとして、5月に行われる夜間行軍や、夏合宿の一環として行われる地域の方々と交流演奏会、定期演奏会など、毎月イベントを開催しています。

現在は、12月に開催予定の定期演奏会に向けて日々練習しています。イデムチには、音楽初心者も多数所属していて、未経験者でも練習次第で上達することができます。また、先輩、後輩のつながりが密接で、指導を仰ぎやす

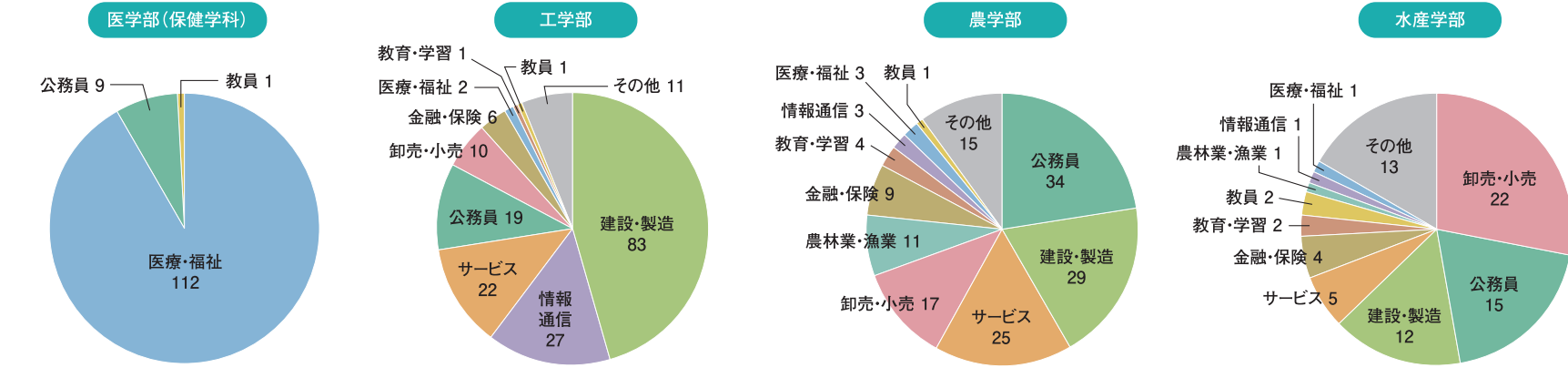
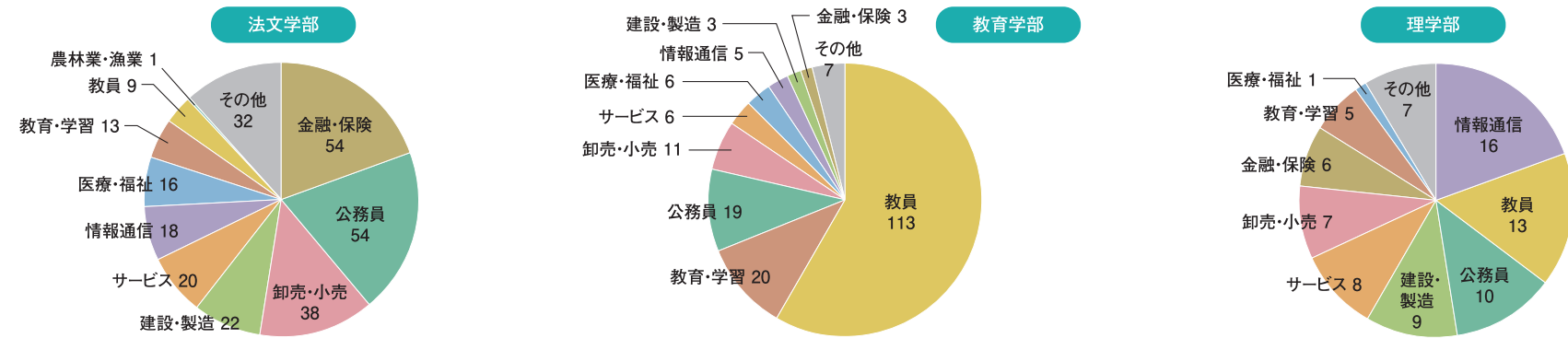


部に昇格したイデムチ

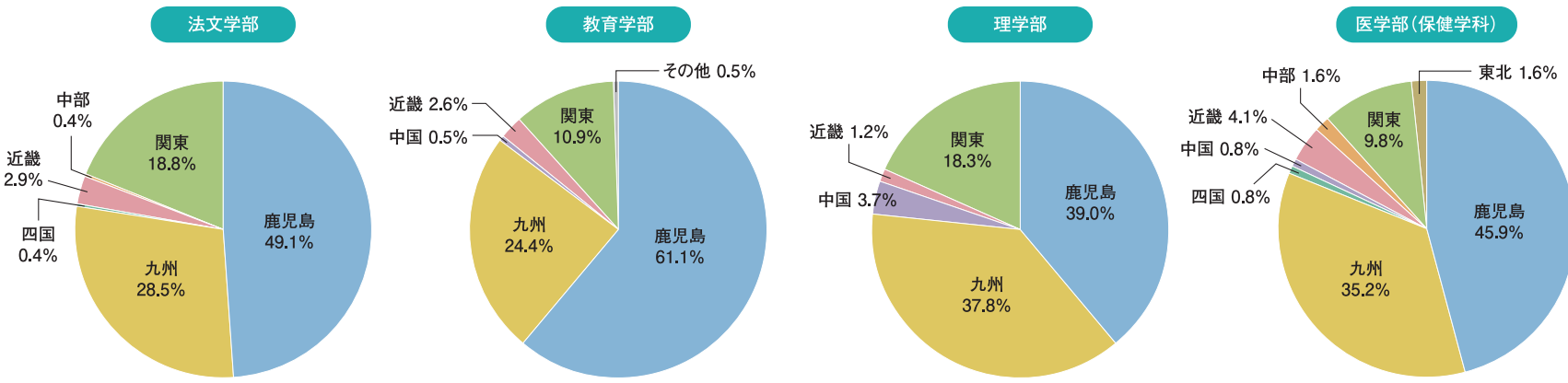
い環境なのも魅力の一つです。

これからは部として、今まで以上に頑張って活動していきたいと思っておりますので、今後とも応援よろしくお願いします。

●平成22年度学部卒業者の学部別・産業分類別就職状況(単位:人) (平成23年5月1日現在)

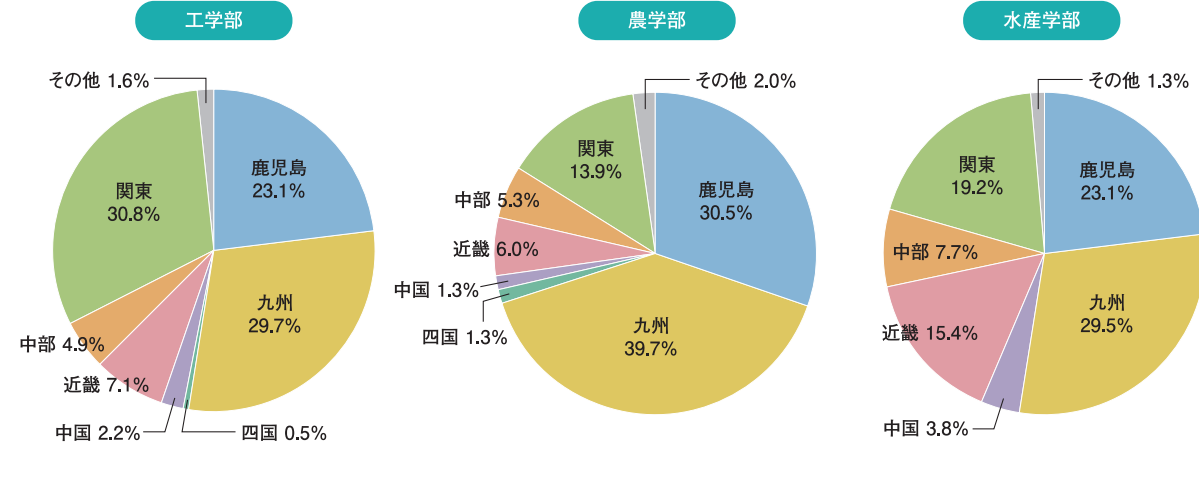


●平成22年度学部卒業者の地区別等就職状況 (平成23年5月1日現在)



●学部別過去5年間の就職率

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
法文学部	91.1%	92.2%	94.3%	91.9%	87.1%
教育学部	82.6%	88.4%	79.3%	84.2%	93.2%
理学部	90.9%	97.7%	88.5%	93.8%	94.3%
医学部(保健学科)	95.2%	100.0%	97.3%	99.2%	96.8%
工学部	94.9%	96.9%	97.1%	95.2%	98.4%
農学部	95.8%	97.6%	93.7%	95.6%	95.6%
水産学部	96.4%	97.9%	94.7%	93.8%	92.9%
全学部	91.6%	94.6%	92.1%	92.5%	93.1%



◎先生インタビュー

井戸章雄

医学以外のことも学び、幅広い視野を持つ

失敗を恐れずに、何事にも積極的に取り組んで

理工学研究科 生命化学専攻 有機化学准教授 濱田季之

町医者にあがれて医学部に入学。消化器がんの患者が多く、対象となる臓器も多い消化器内科を選択しました。ところが、研究生時代に行った肝臓がんを選択的に攻撃する遺伝子治療の研究が面白く研究者の道を歩み始めました。現在の主な研究テーマはHGF肝細胞増殖因子の医薬品化を目指したトランスレシヨナルリサーチの推進です。HGFの劇症肝炎等への臨床応用が進めば、他の難治性疾患への応用も期待されています。基礎研究を実践に反映していくのは大学の大きな魅力だと思います。

もつ二のテーマが炎症性腸炎におけるオステオカレキニン(OCN)の機能解析です。OCNが炎症を収束させるマイクロファージという細胞に発現し、何をしているのかを研究しています。

医学は日進月歩で進化し、今の学生は自分の頃と比べて量が格段に増えています。国家試験合格が最大の目標であるため、大学の専門学校化が進んでいることや、医学教育が臨床系の実践的な教育に引き、背景にある基礎的な理論が軽視されがちな傾向があることを残念に感じます。

学生には、国家試験対策だけでなく、アカミクノ領域や生命科学についてもっと好奇心を持って学んでほしいと思います。また、学生のうちに読書、クラブ活動、旅行など、医学以外のことも学び、いろいろな人と交流し、広い視野を持つてほしいと思います。